

# 2009年度 早稲田大学 人間科学部

## 日本史 解答例

### I 古代の政治・外交・文化 <やや易>

問1エ 問2ウ 問3オ 問4エ 問5ウ 問6エ

問7ア 問8ア 問9オ 問10イ・カ 問11ウ 問12イ

わずかなフレーズから史料を判別させる問題が2問出題されている。選択肢を数えると要するに11本の史料が出題されたことになる。史料対策をおろそかにしていた人にとっては厳しかっただろうが、対策を取っていた人にとっては、判別に悩む正誤問題に比べれば得点しやすい問題であった。

### II 中世の芸能と連歌 <難>

問1エ 問2ア・カ 問3イ 問4ウ・オ 問5カ 問6オ

問7イ 問8カ 問9ア 問10エ・オ 問11オ 問12ウ

難問が問1・5・8・11と4問もあり、ここでの高正答率は望めない。扱われている問題には早稲田らしさはあるものの、作問者は受験生にとっての難易度を把握できていないと思われる。

### III 江戸時代の対外関係 <標準>

問1ア 問2エ 問3カ 問4ウ 問5ア・エ 問6オ

問7カ 問8オ 問9イ 問10イ 問11ウ 問12エ

早稲田の定番テーマだったため、備えていた人にとっては点数を稼げただろう。この大問においては消去法が使えずとも正解できる設問が多い。全問正解も可能だった。

### IV 近代の出版活動 <やや難>

問1イ 問2オ 問3ウ 問4ア 問5イ 問6カ

問7エ・オ 問8イ 問9ウ 問10ア 問11エ 問12エ

問11は選択肢の人物が、それぞれどういうジャンルに属するのかを分類できていなければ解けない問題だった。いくら人名と著作物などを覚えても役に立たないので

ある。文化史分野はとかく用語暗記にとどまりがちだが，時代と分野を意識して整理しよう。

## V 原始～近代の人間の生老病死 <やや難>

問1オ 問2ア 問3カ 問4イ 問5ア・エ 問6ウ 問7イ 問8オ

問9ア 問10エ 問11オ 問12ウ・エ 問13ウ 問14ア 問15イ 問16カ

問題文および史料が長文で，どこまで精読して解くか悩んだだろう。ともすれば時間切れになりかねない。

### 講評

全13ページにもわたる問題量に手を焼く。しかも，ただでさえ時間のかかる正誤問題で「該当するものがなければ，カをマークせよ」とあるため消去法が使えず，各選択肢を完全に正誤判別しなければならない。早稲田で日本史が課される学部ではもっとも偏差値が低いわりに，問題はもっとも難しいという逆転現象がおきている。